

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

徒歩と健康

先日、通学班の子どもたちの見守りで一緒に学校まで歩いてきてくださっている保護者の方と、歩くことが子どもたちの心身の健康づくりにとても効果があるという会話をしました。

ベストセラーとなったアンデシュ・ハンセン氏の「運動脳」にも、つぎのようなことが書かれています。

- ・毎日たくさん歩いた子どもは、あまり歩かなかった子どもに比べてストレスを感じにくく、精神状態も安定している。ウォーキングには抗うつ効果がある。(毎日20分から30分程度)
- ・午前中に運動をすることで集中力が高まる(できるだけ早い時間20分程度)
- ・毎日20分程度歩くだけで、脳は若返る。脳の老化を止め、認知症の発症率を40%減らせる。

このように、毎朝の20分程度の徒歩による運動が、心身の健康にとって、よい効果があることが分かります。徒歩通学自体が健康増進の一役を担っているといえます。そのほかにも、「運動脳」には、運動の効果としてつぎのようなことも書かれています。

- ・体育を毎日行った生徒と週2回行った生徒とでは、毎日体育を行った生徒のほうが成績がよかったという実験結果がでた。
- ・運動をすることで、学力が上がるだけでなく、脳全体の機能が向上する。
- ・体を活発に動かせば、脳細胞の新生は2倍に増える。
- ・運動によって、注意力、記憶力、複数の作業を並行して行うことや、集中力、決断力が向上する。

知・徳・体のバランスのとれた成長が大切ですが、その根幹をなすのは、健康です。運動をする機会を大切にすることが、子どもたちの心の健康と学力にもつながります。

浄水場見学

4年生が社会科の学習で、浄水場へ見学に行きました。市上下水道課の方が、旭川からくみ上げた水をどのような設備できれいにし、学校や各家庭に送っているかを分かりやすく説明してくださいました。子どもたちは、日々の生活に欠かせない水を各家庭に送るために努力されている人がいることを学ぶこともできました。



学校支援ボランティア

6月25日(火)のクラブ活動の卓球に、福井さんと武内さんが来てくださいました。ラケットの持ち方やラケットの振り方など基本を指導してくださいました。初めて卓球にチャレンジする子もいたので、よいアドバイスを受けることができました。

6月26日(水)28日(金)の5年生の家庭科では、杉井さん、山田さん、入澤さん、山崎さんが来てくださいました。手縫いの基本である「玉結び、玉どめ」などにチャレンジする子どもたちをやさしく支援してくださいました。

学校では、随時学校支援ボランティアをしてくださる方を募集しています。上記のような学習支援や学校敷地内の剪定・草刈りなどの環境整備等をしていただける方がおられましたら、学校までご連絡ください。



遷喬小150年の軌跡⑥

現遷喬小学校は、昭和63年に建設工事が始まり、平成2年に完成、同年の9月1日の2学期始業式から新校舎での学校生活がスタートしました。当時、久世町の一般会計予算約30億円のところ、約25億円をかけて造られました。旧遷喬小学校と同様に地域の熱い思いが込められた校舎です。設計は株式会社GEN設計の東元久雄さんです。最近、岡山城の大改修も手がけています。子どもたちが圧迫感なく、楽しく安心してすごせる空間を大切に設計された遷喬小学校は、西日本初のオープンスペースのある小学校として、全国から注目されました。校舎建設に当たって、教職員やPTA役員が、先進校視察を行ったり、当時の東京都立大学 長倉康彦教授、国立教育研究所 加藤幸次教授からオープンスペースのある学校のよさを学んだりしました。

現校舎も、今年で34年となり、ガス暖房設備の不具合など修繕の必要な箇所が多くなってきました。150周年を機に、次のステップへ進む時期となってきました。



平成2年 新校舎での最初の運動会 校舎から運動場がフラットになっています。校舎周り運動場は、まだ工事の途中でした。